

# 町長からのメッセージ

## 広野町民の皆さま、緊急時避難準備区域の解除から4年目を迎えて



平成26年10月1日、広野町が緊急時避難準備区域を解除されてから4年目を迎えるに当たり、町長から町民の皆さんにメッセージを発信しましたので、その抜粋を掲載します（全文は町公式ホームページに掲載）。

### 原子力損害賠償 および除染

原子力損害賠償に関して、旧緊急時避難準備区域と避難指示区域との賠償内容の差があまりにも大きく、住民の間に生じている心の分断を解消するため、復興大臣、文部科学大臣、経済産業大臣および東京電力株式会社社長などに対して繰り返し要望書を提出し、9月には町議会議員全員とともに国および東京電力に対して適切な賠償を求める要望活動を実施しました。

除染に関しては、広野町除染実施計画を策定し、6月には第三者の有識者による検証・分析を行うための広野町除染などに関する検証委員会を設置しました。新たな事業として、放射線に関する相談窓口の設置を進め、相談員による戸別訪

本年を『ふる里復興・再生、希望の年』として、3

月に広野町復興計画（第2次）を策定し、4月にはグループ制から課・係制へと移行する行政機構改革を実施いたしました。町民の皆さまと共に町職員が一体となって、幸せな帰町・復興に向けた取組を進めております。「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし」という吉田松陰の言葉がありますが、夢を持つことの大切さを忘れず、夢を持つことの大変さを噛みしめ、私たちが求め願う「ふる里の復興・再生」に向けて力強く歩んでまいりたいと存じます。

### 医療体制の充実

医療体制の充実を図るために、医療機関の機能強化に対する支援および医師、看護師不足に対する支援について、厚生労働大臣ならびに福島県知事に対して繰り返し要望活動を実施いたしました。町内の医療機関と県ならびにいわき市などとの連携を強化し、医療体制の充実を図ってまいります。

### 住環境の整備

災害公営住宅「広野原団地」は10月22日には入居が開始されることとなります。また、大平団地、蛇木<sup>あぶき</sup>団地および桜田住宅などの修繕工事も7月に着工しました。平成27年度に向けて、第2期の町営災害公営住宅の整備を進めるとともに、富岡町・大熊町・双葉町・浪江町の避難者のための県営復興公営住宅について町内への整備が進んでおります。

### 雇用の創出

8月に進出企業に係る第1回のプロポーザルを実施し、10月には第1回の企業始めました。また、6月以降毎月2日間と、夏休み期間の8月には3日間、広野中学生の学習支援事業として現役大学生を講師に迎えた「町営学習塾」を開講しております。2学期以降は高校受験に向けた指導についても実施しております。中高一貫校「福島県立ふたば未来学園高等学校」は双葉郡内8町村の連携の下で引き続き支援をしております。9月には、広野中学校の生徒14人が「日米草の根交流サミットサンディエゴ大会」に参加しました。町の未来を担う人材の育成のため、教育環境の整備に全力で取り組んでまいります。

### 教育

4月に幼稚園児が町外6人、町内33人の合計39人、小学生が町外37人、町内54人の合計91人、中学生が町外23人、町内27人の合計50人となり、全体で180人の子どもたちが通園、通学をしております。小中学校へのスクールバスを109人が利用しております。今年度から幼稚園、小学校、中学校において、英語の履修時間を大幅に増設いたしました。さらに、震災以降不在となっておりましたALT（外国語指導助手）を配置し、中学校を中心に小学校および幼稚園でも英語授業の補助を行っております。6月からは、広野小学生の学習支援事業として、小学校図書室を活用し「広野町放課後子ども教室」を

### 商業および農業

商業に関しては、買い物に係る不便解消に向けて、5月から広野町商工会が「宅配サービス・みかんちゃん」を開始しました。複合商業施設の整備につきましても、地元商工会の理解、連携の下に取り組みを進めてまいります。

農業に関しては、今年の水稲作付け農家は132戸、作付面積は154ヘク

### 行事

6月には、幸せな帰町に向けた環境について考える国際シンポジウムを開催

### 結び

震災の記憶が風化するこ

とへの危機感も覚えており、広野町の現状を正確に情報発信することにより、全国・世界へ向けた「広野からのメッセージ」を採択しました。8月には広野町サマーフェスティバル2014を開催し、5千人を超えるご来場をいただきました。同日に、震災以降初めての再会・交流事業となる「集まれ!!ひろのっこ」を開催しました。今月12日には、第20回の節目となる記念すべき「ひろの童謡まつり」を開催いたします。町民の皆さまがふる里・広野町のすばらしさを改めて感じる事ができるような行事を通して、世界に誇れる広野町の姿を広く皆さまに伝えてまいりたいと考えております。

震災の記憶が風化するこ  
とへの危機感も覚えてお  
り、広野町の現状を正確に  
情報発信することにより

平成26年10月1日

広野町長 遠藤 智